

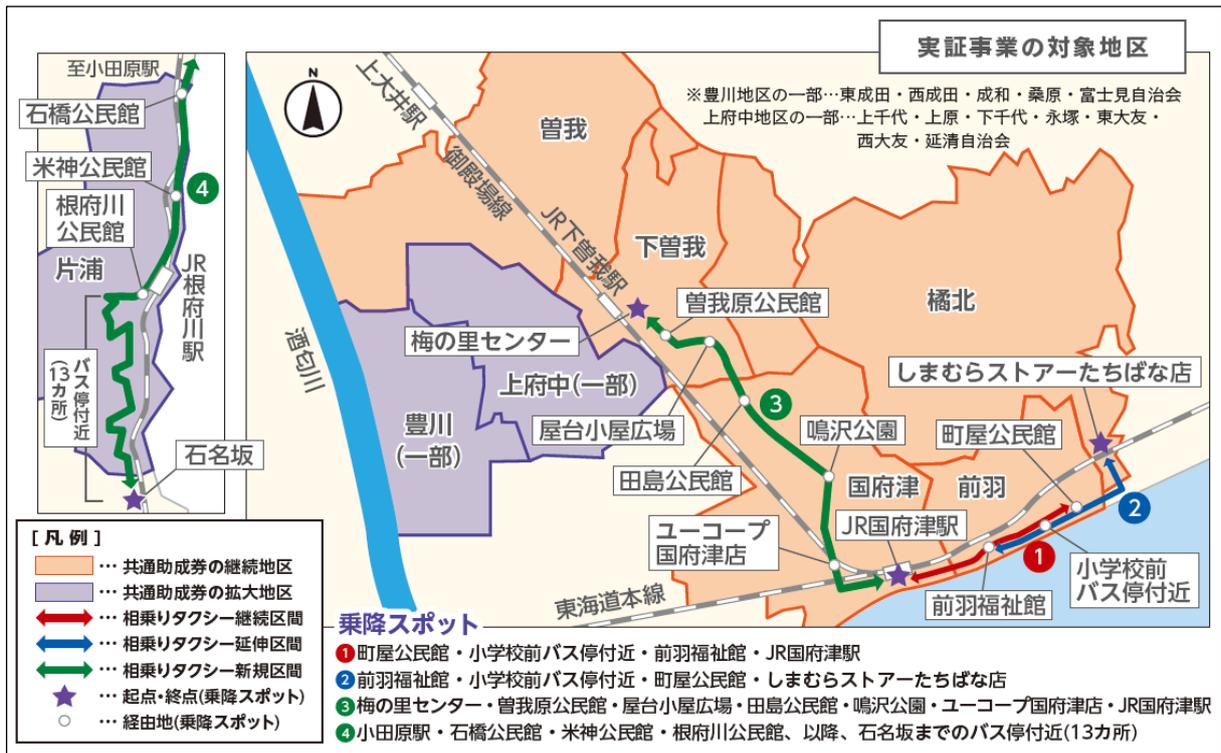
おだタク・おだチケ実証事業「第1弾」の効果検証 及び「第2弾」の中間検証について

1 効果検証の目的

おだタク・おだチケ実証事業は、日中に路線バスの運行していない空白時間帯が生じている地域や、駅・バス停から離れている地域において、地域のニーズと実情に応じた移動支援策を選定するため、「第1弾」を令和5年11月から令和6年3月まで、「第2弾」を令和6年4月から10月まで実施している。

事業終了後に、利用者数や満足度、利用しなかった理由などを調査し、その効果を検証することとしており、今後の移動支援策を検討するため、「第1弾」の効果検証を行った。

また、「第2弾」については、令和6年4月から5月末までの実績等に基づき、中間検証を行った。



2 事業概要

(1) 相乗りタクシー「おだタク」

路線バスの運行していない空白時間帯におだタクを運行する。

【第1弾】

運行日	令和5年11月1日(水)～令和6年3月29日(金)のうち平日(週5日)
対象者	事前予約をすれば誰でも利用可能 (居住地区、年齢、運転免許証非保有の制限なし)
運行区間 (乗降スポット)	前羽地区⇄国府津駅(町屋公民館・小学校前バス停付近・国府津駅)
運行曜日 ・時間	月・火・水・木・金曜日 ※祝・休日、年末年始運休 午前9時30分～11時30分/午後2時～4時
運行便数	1日当たり18便
運賃	1便につき600円、最大4名で相乗り(例)4名乗車⇒150円/名
利用方法	・利用日の1か月前から当日の利用1時間前までに、運行するタクシー事業者に電話予約(市内事業者7社による週替わりの運行) ・予約日時に乗車し、降車時に各利用者が個々に運賃を乗務員に支払う。

【第2弾】

運行日	令和6年4月1日(月)～令和6年10月30日(水)のうち平日(週2日)
対象者	予約不要(先着順)で誰でも利用可能 (居住地区、年齢、運転免許証非保有の制限なし)
運行区間 (乗降スポット)	①前羽地区⇄国府津駅(しまむらストアー・町屋公民館・小学校前バス停付近・前羽福祉館・国府津駅) ②下曾我駅周辺⇄国府津駅(梅の里センター・曾我原公民館・屋台小屋広場・田島公民館・鳴沢公園・ユーコープ・国府津駅) ③小田原駅⇄片浦地区(小田原駅・石橋公民館・米神公民館・根府川公民館・石名坂までの各バス停付近)
運行曜日 ・時間	①火・金曜日 午前9時30分～11時20分/午後2時～4時10分 ②月・水曜日 正午～午後4時50分 ③火・金曜日 午前10時30分～午後1時30分 ※①～②は祝・休日運休、③は祝・休日、GW、お盆期間運休
運行便数	①1日当たり13便 ②1日当たり10便 ③1日当たり11便
運賃	1便につき600円、最大4名で相乗り(例)4名乗車⇒150円/名
利用方法	・運行予定時刻に各乗降スポットでおだタクに乗降する。 ・降車時に各利用者が個々に運賃を乗務員に支払う。

※「第1弾」から「第2弾」において変更した点：下線部

(2) タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

対象地区にお住いで、一定の年齢以上の運転免許証非保有者を対象に、タクシーと路線バスで利用できるおだチケを配付する。

【第1弾】

申請期間	令和5年10月23日(月)～令和6年3月15日(金)
利用期間	令和5年11月1日(水)～令和6年3月31日(日)
対象地区	曾我・下曾我・国府津・前羽・橘北地区
対象者	対象地区に居住する75歳以上の運転免許証非保有者
助成金額	一人につき12,000円分(100円券×120枚) ※5か月分
配付方法	窓口及び郵送で申請受付・配付(必要書類：申請書・本人確認書類)
利用方法	[タクシー]乗務員におだチケを手渡し [路線バス]運賃箱等におだチケを投函
利用上限額	[タクシー]上限額2,400円(1人1乗車につき) [路線バス]上限なし(神奈川中央交通「かなちゃん手形」・富士急モビリティ「シルバー定期券」の購入も利用可能とするため)
利用できる交通事業者	[タクシー]市内事業者8社、市外2社(市内での乗車又は降車で利用可) [路線バス]富士急モビリティ(市内バス停での降車で利用可) 神奈川中央交通(国府津駅～橘団地の区間で利用可)

【第2弾】

申請期間	令和6年3月25日(月)～令和6年10月18日(金)
利用期間	令和6年4月1日(月)～令和6年10月31日(木)
対象地区	曾我・下曾我・国府津・前羽・橘北・ <u>片浦</u> ・ <u>豊川(一部)</u> ・ <u>上府中(一部)</u> 地区
対象者	対象地区に居住する <u>70歳以上</u> の運転免許証非保有者
助成金額	一人につき <u>16,800円分</u> (100円券× <u>168枚</u>) ※ <u>7か月分</u>
配付方法	同第1弾
利用方法	※ <u>第1弾のおだチケを受け取った方は、申請不要で第2弾のおだチケを郵送</u>
利用できる交通事業者	[タクシー]市内事業者8社、市外 <u>6社</u> (市内での乗車又は降車で利用可) [路線バス]富士急湘南バス(市内バス停での降車で利用可) 神奈川中央交通(国府津駅～橘団地の区間で利用可) <u>箱根登山バス(小田原駅～石名坂の区間で利用可)</u>

※「第1弾」から「第2弾」において見直した点：下線部

※豊川(一部)…東成田、西成田、成和、桑原、富士見自治会

上府中(一部)…上千代、上原、下千代、永塚、東大友、西大友、延清自治会

3 効果検証の概要

【第1弾の検証結果】

[相乗りタクシー「おだタク」]

検証期間：令和5年11月1日～令和6年3月29日

検証項目：ア) 実績

①利用者数 ②稼働便数 ③運賃収入 ④片浦地域主体のタクシー輸送

イ) 分析結果

①実績まとめ ②利用者アンケート調査

③おだチケ申請者への電話聞き取り ④考察

[タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」]

検証期間：令和5年10月23日～令和6年3月31日

検証項目：ア) 実績

①申請者数 ②利用者数・利用金額

イ) 分析結果

①実績まとめ ②利用者アンケート調査

③おだチケ申請者への電話聞き取り等 ④考察

【第2弾の中間検証（令和6年4月～5月実績）】

[相乗りタクシー「おだタク」]

検証期間：令和6年4月1日～5月31日

検証項目：ア) 実績

①利用者数 ②稼働便数 ③運賃収入

イ) 分析結果

①第1弾との比較 ②利用者アンケート調査

[タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」]

検証期間：令和6年4月1日～5月31日

検証項目：ア) 実績

①申請者数 ②利用者数・利用金額

イ) 分析結果

①第1弾との比較 ②利用者アンケート調査

4 第1弾の検証結果

(1) 相乗りタクシー「おだタク」

ア 実績(令和5年11月～令和6年3月)

①利用者数

[前羽地区] 平日 98 日間運行し、延べ 148 人の利用(平均 1.5 人/日)

	延べ利用者数	運行日数	平均利用者数/日
11月	26人	20日	1.3人
12月	30人	20日	1.5人
1月	23人	19日	1.2人
2月	37人	19日	1.9人
3月	32人	20日	1.6人
合計	148人	98日	1.5人

②稼働便数

[前羽地区]全 1,764 便の運行のうち、103 便の利用(稼働率 5.8%)

	運行可能便数(A)	実稼働便数(B)	稼働率(B/A)
11月	360便	21便	5.8%
12月	360便	19便	5.3%
1月	342便	15便	4.4%
2月	342便	26便	7.6%
3月	360便	22便	6.1%
合計	1,764便	103便	5.8%

※運行可能便数(A)：1日当たり18便×運行日数98日

※実稼働便数(B)：1人以上の利用があった便数

③運賃収入

	運行委託料(C)	運賃収入上限額(D)	実運賃収入(E)	収支率(上限)(D/C)	実収支率(E/C)
11月	871,200円	216,000円	12,600円	24.8%	1.4%
12月	871,200円	216,000円	11,400円	24.8%	1.3%
1月	827,640円	205,200円	9,000円	24.8%	1.1%
2月	827,640円	205,200円	15,600円	24.8%	1.9%
3月	871,200円	216,000円	13,200円	24.8%	1.5%
合計	4,268,880円	1,058,400円	61,800円	24.8%	1.4%

※1便当たりの運賃600円(定員4人)

※運賃収入上限額(D)：運行可能便数(A)×600円

※実運賃収入(E)：実稼働便数(B)×600円

④片浦地域主体のタクシー輸送

路線バスの日中の空白時間帯の移動手段を確保し、地域住民の利便性を向上させるため、片浦地区自治会連合会が主体となり、令和5年1月から令和6年3月までタクシー輸送を実施。

[事業概要]

運行日	平日の火曜日・水曜日の週2日
運行時刻・便数	12時発・12時30分発の2便
対象者	片浦地域在住者(年齢、運転免許証非保有の制限なし)
運行区間	小田原駅西口⇒片浦地域 ※片道
運賃	無料(片浦地域が負担)
利用方法	利用したい運行時刻に小田原駅西口で乗車 ※予約なし(先着順)

[利用者数・稼働率(令和5年11月～令和6年3月実績)]

		延べ利用者数	運行可能便数(A)	実稼働便数(B)	稼働率(B/A)
火曜日	12:00	62人	20便	19便	95.0%
	12:30	32人	20便	15便	75.0%
水曜日	12:00	53人	20便	20便	100.0%
	12:30	36人	20便	16便	80.0%
合計		183人	80便	70便	87.5%

※平日40日間(火・水曜日各20日)運行し、延べ183人の利用(平均4.6人/日)

イ 分析結果

①実績まとめ

- ・前羽地区では、平日 98 日間運行し、延べ 148 人の利用(1日の平均利用者数 1.5人)。また、全 1,764 便運行のうち 103 便の利用(稼働率 5.8%)。
- ・令和 5 年度に片浦地区で実施された地域主体のタクシー輸送では、1日当たり 2 便(小田原駅から片浦地区までの片道)が運行され、1日の平均利用者数 4.6人、稼働率 87.5%であった。

【おだタクの利用実績】

地区	運行日数	運行便数	延べ利用者数	1日平均利用者数	稼働率
前羽	週 5 日	18 便/日	148 人	1.5 人	5.8%
片浦※	週 2 日	2 便/日	183 人	4.6 人	87.5%

※片浦地区：地域主体のタクシー輸送実績(令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月)

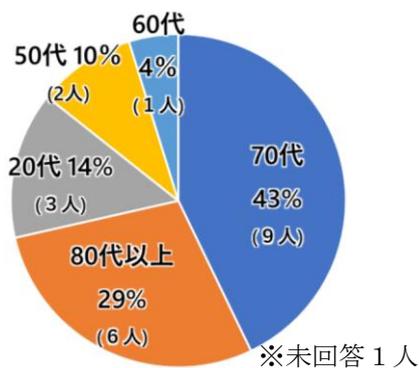
②おだタク利用者アンケート調査

実施期間：令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月

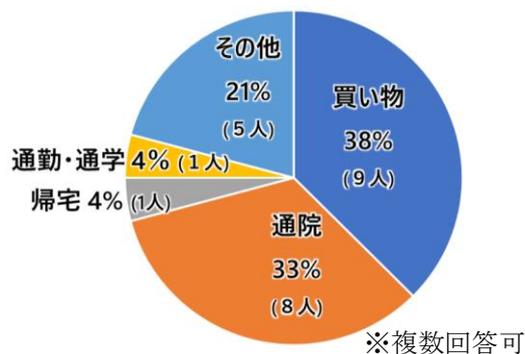
実施方法：おだタク乗車時に利用者が調査票を記入(又は職員の聞き取り)

有効回答者数：22 人

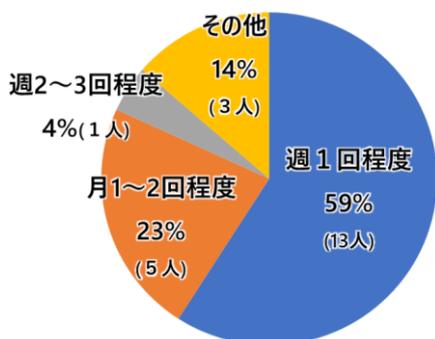
【年代(計 21 人)】



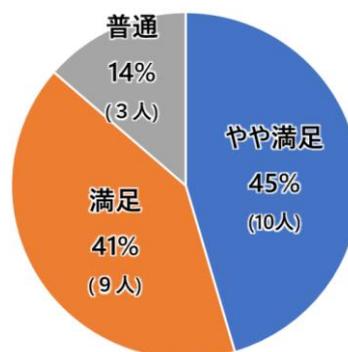
【利用目的(計 24 人)】



【利用頻度(計 22 人)】



【満足度(計 22 人)】



	調査結果
利用者の年代	・20代から80代以上まで幅広い年代が利用しているが、70代以上が約7割を占め、主な利用年代は高齢者となっている。
利用頻度	・「週1回程度」「月1～2回程度」が約8割を占め、おだタクを利用した移動の頻度は少ない。
満足度	・「満足」「やや満足」が約9割を占め、利用者の満足度は高い。

③おだチケ申請者への電話聞き取り

実施期間：令和6年5月
実施方法：職員がおだチケ申請者(第1弾)に電話し、おだタクの利用状況等を聞き取った。
有効回答者数：21人

	主な意見
利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降スポットが少なく、遠い。(29%) ・家族の送迎など自家用車で移動している。(19%) ・おだチケを使い、タクシー・路線バスで移動している。(14%) ・相乗りに抵抗がある。(10%)
その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や子どもの習い事の送迎等に利用したい。 ・乗降スポットを定めず、どこでも乗れるようにしてほしい。

④考察

- ・前羽地区では、利用者が少なく、稼働率も低いことから、運行日数(平日の週5日)が過剰であった。一方で、「乗降スポットが少ない、遠い」「買い物等に利用したい」といった、運行ルートや乗降スポットの改善を希望する意見があった。
- ・片浦地域主体のタクシー輸送では、平日の週2日、1日片道2便の運行のため、1日の平均利用者数が多く、稼働率も高かったが、片浦地区から小田原駅に行く便を望む意見があった。

(2) タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

ア 実績(令和5年11月～令和6年3月)

①申請者数(申請期間：令和5年10月23日～令和6年3月15日)

【地域別】

	対象者数(A)	申請者数(B)	申請率(B/A)	配付金額(B×12,000円)
曾我	226人	66人	29.2%	792,000円
下曾我	348人	111人	31.9%	1,332,000円
国府津	807人	406人	50.3%	4,872,000円
前羽	395人	203人	51.4%	2,436,000円
橘北	737人	365人	49.5%	4,380,000円
合計	2,513人	1,151人	45.8%	13,812,000円

※対象者数(A・運転免許証非保有者数)＝75歳以上人口－運転免許証保有者数

【申請方法別】

	市役所 窓口	住民窓口				郵送	合計
		マロニエ	こゆるぎ	いずみ	アーロード		
申請者数	279人	355人	302人	3人	9人	203人	1,151人
割合	24.2%	30.8%	26.2%	0.3%	0.8%	17.7%	

②利用者数・利用金額(利用期間：令和5年11月1日～令和6年3月31日)

【交通事業者別】

	延べ利用者数		利用金額	
		利用割合		利用割合
タクシー	5,728人	71%	6,824,700円	85%
路線バス	2,357人	29%	1,245,500円	15%
合計	8,085人		8,070,200円	

【月別】

	延べ利用者数	利用金額
11月	1,496人	1,377,400円
12月	1,717人	1,828,100円
1月	1,528人	1,395,400円
2月	1,486人	1,347,500円
3月	1,858人	2,121,800円
合計	8,085人	8,070,200円

申請者(1,151人)が利用した金額の利用率は58.4%、1人当たりの利用回数は約7回となっている。

※利用率：58.4% (利用金額8,070,200円÷配付金額13,812,000円)

※一人当たりの利用回数：約7回(延べ利用者数8,085人÷申請者数1,151人)

イ 分析結果

①実績まとめ

- ・対象者 2,513 人のうち、1,151 人が申請した(申請率 45.8%)。
- ・配付金額 13,812,000 円のうち、8,070,200 円が利用された(利用率 58.4%)。

【おだチケの申請・利用実績】

	対象者数	申請者数	申請率	配付金額
曾我	226 人	66 人	29.2%	792,000 円
下曾我	348 人	111 人	31.9%	1,332,000 円
国府津	807 人	406 人	50.3%	4,872,000 円
前羽	395 人	203 人	51.4%	2,436,000 円
橋北	737 人	365 人	49.5%	4,380,000 円
合計	2,513 人	1,151 人	45.8%	13,812,000 円
			利用金額	8,070,200 円
			利用率	58.4%

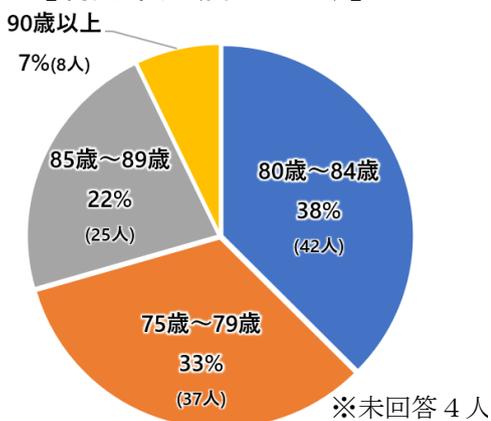
②おだチケ利用者アンケート調査

実施期間：令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月

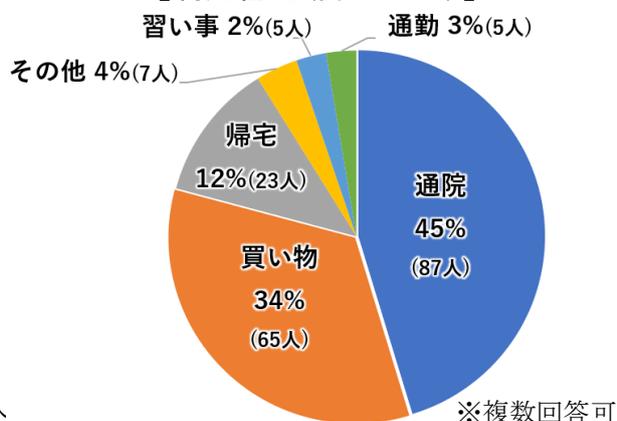
実施方法：おだチケと併せて調査票を配布し、郵送や住民窓口
に直接提出又は WEB 回答

有効回答者数：116 人

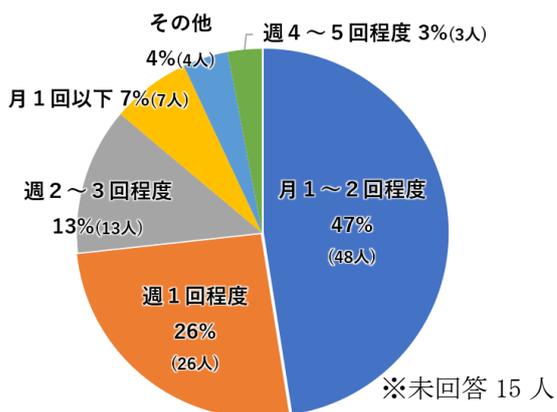
【利用年代(計 112 人)】



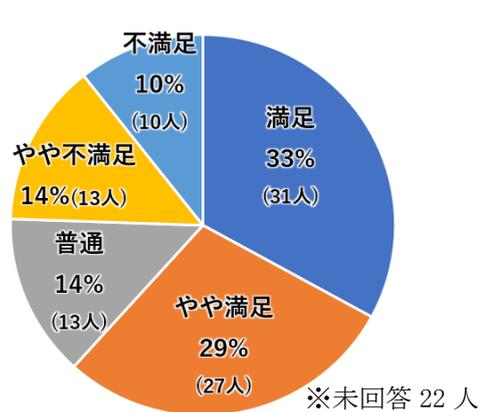
【利用目的(計 192 人)】



【利用頻度(計 101 人)】



【満足度(計 94 人)】



	調査結果
利用者の年代	・「80～84歳」が約4割、「75～79歳」が約3割、「85～89歳」が約2割であり、「90歳以上」は1割以下となっている。
利用頻度	・「月1～2回程度」「週1回程度」が約7割を占め、おだチケを利用した移動の頻度は少なかった。
満足度	・「満足」「やや満足」が約6割を占める一方で、配付金額や利用できる路線バスに限られる等の理由から、約2割の方が「不満」「やや不満」と回答している。

③おだチケ申請者への電話聞き取り等

実施期間：令和6年5月

実施方法：職員がおだチケ申請者(第1弾)に電話し、おだチケの利用状況等を聞き取った。

※「おだチケを申請しない理由」は、別途、地域から意見聴取(自治会、まちづくり委員会等)

有効回答者数：24人

	主な意見
申請しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・外出しない(頻度が少ない)。 ・家族の送迎などタクシー、路線バス以外で移動している。 ・申請方法が分からない。 ・おだチケを知らない。
申請したが利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社に電話しても配車されない(配車に時間がかかる等)。(50%) ・外出しない(頻度が少ない)。(21%) ・家族の送迎などで移動しているが、念のため申請した。(21%) ・おだチケの使い方が分からない。(8%)
その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納を促すためにも、おだチケを続けてほしい。 ・利用できるバス路線を増やしてほしい。

④考察

- ・対象者の約半数は申請しておらず、「申請方法が分からない」「おだチケを知らない」といった声があるため、引き続き周知徹底を図る必要がある。
- ・配付金額の約4割は利用されておらず、タクシーの需給状況のほか、外出頻度の多寡も要因の一つと考えられる。

5 第2弾の中間検証(令和6年4月～5月実績)

(1) 相乗りタクシー「おだタク」

ア 実績

①利用者数

[前羽地区] 平日 17 日間運行し、延べ 42 人の利用(平均 2.5 人/日)

	延べ利用者数	運行日数	平均利用者数/日
令和6年4月	19人	9日	2.1人
5月	23人	8日	2.9人
合計	42人	17日	2.5人

[下曾我・国府津地区] 平日 16 日間運行し、延べ 25 人の利用(平均 1.6 人/日)

	延べ利用者数	運行日数	平均利用者数/日
令和6年4月	7人	8日	0.9人
5月	18人	8日	2.3人
合計	25人	16日	1.6人

[片浦地区] 平日 15 日間運行し、延べ 121 人の利用(平均 8.1/日)

	延べ利用者数	運行日数	平均利用者数/日
令和6年4月	60人	7日	8.6人
5月	61人	8日	7.6人
合計	121人	15日	8.1人

②稼働便数

[前羽地区] 全 221 便の運行のうち、31 便の利用(稼働率 14.0%)

	運行可能便数(A)	実稼働便数(B)	稼働率(B/A)
4月	117便	15便	12.8%
5月	104便	16便	15.4%
合計	221便	31便	14.0%

※運行可能便数(A)：1日当たり13便×運行日数17日

[下曾我・国府津地区] 全 160 便の運行のうち、19 便の利用(稼働率 11.9%)

	運行可能便数(A)	実稼働便数(B)	稼働率(B/A)
4月	80便	7便	8.8%
5月	80便	12便	15.0%
合計	160便	19便	11.9%

※運行可能便数(A)：1日当たり10便×運行日数16日

[片浦地区] 全 165 便の運行のうち、75 便の利用(稼働率 45.5%)

	運行可能便数(A)	実稼働便数(B)	稼働率(B/A)
4月	77便	35便	45.5%
5月	88便	40便	45.5%
合計	165便	75便	45.5%

※運行可能便数(A)：1日当たり11便×運行日数15日

③運賃収入

[前羽地区]

	運行委託料 (C)	運賃収入上限額 (D)	実運賃収入 (E)	収支率(上限) (D/C)	実収支率 (E/C)
4月	293,760円	70,200円	9,000円	23.9%	3.1%
5月	261,120円	62,400円	7,900円	23.9%	3.0%
合計	554,880円	132,600円	16,900円	23.9%	3.0%

[下曾我・国府津地区]

	運行委託料 (C)	運賃収入上限額 (D)	実運賃収入 (E)	収支率(上限) (D/C)	実収支率 (E/C)
4月	326,392円	48,000円	4,200円	14.7%	1.3%
5月	326,392円	48,000円	6,000円	14.7%	1.8%
合計	652,784円	96,000円	10,200円	14.7%	1.6%

[片浦地区]

	運行委託料 (C)	運賃収入上限額 (D)	実運賃収入 (E)	収支率(上限) (D/C)	実収支率 (E/C)
4月	219,912円	46,200円	46,200円	21.0%	21.0%
5月	251,328円	52,800円	52,800円	21.0%	21.0%
合計	471,240円	99,000円	99,000円	21.0%	21.0%

※片浦地区住民の運賃は全額を地域が負担(利用者無料)

イ 分析結果

①第1弾との比較

- ・前羽地区は、1日の平均利用者数2.5人、稼働率14.0%となり、予約不要とし運行日数を週2日に減らしたことで、1日の平均利用者数、稼働率ともに増加した。
- ・下曾我・国府津地区は、1日の平均利用者数1.6人、稼働率11.9%となり、曜日、便数等の運行内容は異なるものの、他の地区と比較し、利用者数、稼働率ともに少ない。
- ・片浦地区は、1日の平均利用者数8.1人、稼働率45.5%となり、運行日数は週2日のまま、1日11便(往復)としたことで、1日の平均利用者数は増加したが、利用されない便が生じたため、稼働率は減少した。

【おだタクの利用実績】

地区	第1弾(R5.11~R6.3) ※再掲			第2弾(R6.4~5) ※中間検証		
	運行日数(便数/日)	1日平均	稼働率	運行日数(便数/日)	1日平均	稼働率
[先行地区]前羽	週5日(18便)	1.5人	5.8%	週2日(13便)	2.5人	14.0%
[拡大地区] 下曾我・国府津				週2日(10便)	1.6人	11.9%
片浦	週2日(2便)	4.6人	87.5%	週2日(11便)	8.1人	45.5%

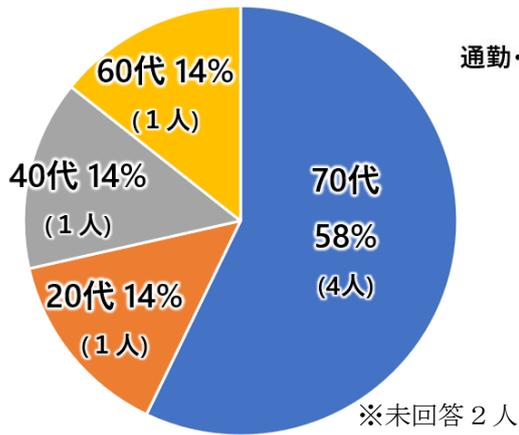
②おだタク利用者アンケート調査

実施期間：令和6年4月～5月

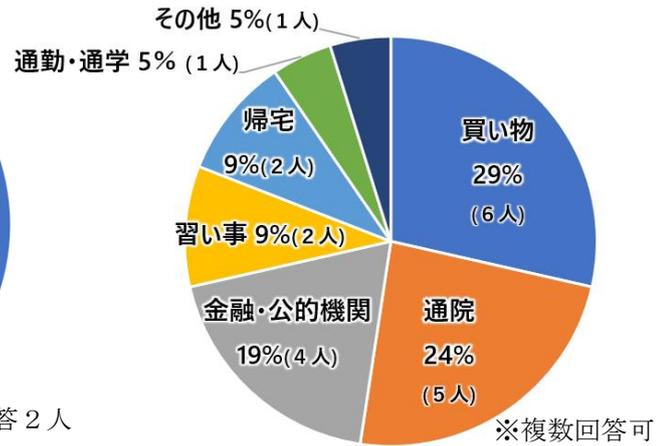
実施方法：おだタク乗車時に利用者が調査票を記入(乗務員が協力依頼、調査票回収)

有効回答者数：9人

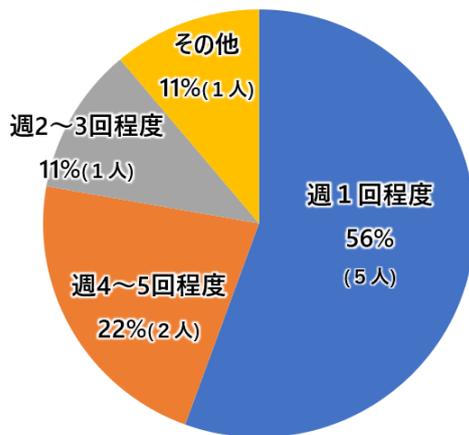
【年代(計7人)】



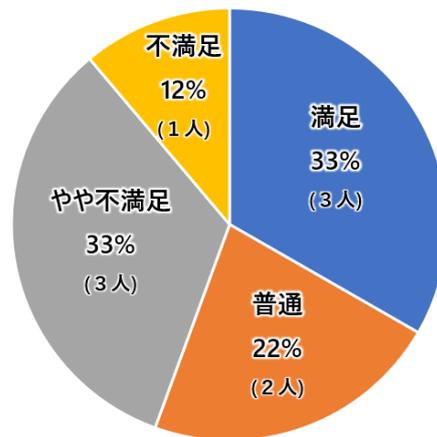
【利用目的(計21人)】



【利用頻度(計9人)】



【満足度(計9人)】



(2) タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

ア 実績

①申請者数(申請期間：令和6年3月25日～5月31日)

【地域別】

		対象者数(A)	申請者数(B)	申請率(B/A)	配付金額(B×16,800円)
先行地域	曾我	295人	93人	31.5%	1,562,400円
	下曾我	455人	157人	34.5%	2,637,600円
	国府津	1,071人	584人	54.5%	9,811,200円
	前羽	452人	276人	61.1%	4,636,800円
	橘北	974人	466人	47.8%	7,828,800円
	小計	3,247人	1,576人	48.5%	26,476,800円
拡大地域	片浦	273人	65人	23.8%	1,092,000円
	豊川(一部)	449人	113人	25.2%	1,898,400円
	上府中(一部)	636人	177人	27.8%	2,973,600円
	小計	1,358人	355人	26.1%	5,964,000円
合計		4,605人	1,931人	41.9%	32,440,800円

※対象者数(A・運転免許証非保有者数)＝70歳以上人口－運転免許証保有者数

【申請方法別】

	市役所 窓口	住民窓口				郵送	申請不要 (第1弾申請者)	合計
		マロニエ	こゆるぎ	いずみ	アークロード			
申請者数	226人	345人	108人	7人	29人	65人	1,151人	1,931人
割合	11.7%	17.9%	5.6%	0.3%	1.5%	3.4%	59.6%	

②利用者数・利用金額(利用期間：令和6年4月1日～5月31日)

【交通事業者別】

	延べ利用者数		利用金額	
		利用割合		利用割合
タクシー	4,173人	63%	5,057,000円	86%
路線バス	2,403人	37%	816,700円	14%
合計	6,576人		5,873,700円	

【月別】

	延べ利用者数	利用金額
4月	2,696人	2,503,500円
5月	3,880人	3,370,200円
合計	6,576人	5,873,700円

申請者(1,931人)が利用した金額の利用率は約18.1%、1人当たりの利用回数は約3回となっている。

※利用率：約18.1% (利用金額5,873,700円÷配付金額32,440,800円)

※一人当たりの利用回数：約3回(延べ利用者数6,576人÷申請者数1,931人)

イ 分析結果

①第1弾との比較

- ・令和6年5月末時点の申請率は、先行地区で48.5%となり、第1弾の申請者に申請不要で郵送したこともあり高い一方で、拡大地区は26.1%と低い状況にある。
- ・全体の申請率は41.9%で、第1弾では、同時期で約43%であったことから、第2弾でも同程度の申請が見込まれる。

【おだチケの申請・利用実績】

		第1弾(R5.11~R6.3) ※再掲				第2弾(R6.4~5) ※中間検証			
		対象者数	申請者数	申請率	配付金額	対象者数	申請者数	申請率	配付金額
先行地区	曾我	226人	66人	29.2%	792,000円	295人	93人	31.5%	1,562,400円
	下曾我	348人	111人	31.9%	1,332,000円	455人	157人	34.5%	2,637,600円
	国府津	807人	406人	50.3%	4,872,000円	1,071人	584人	54.5%	9,811,200円
	前羽	395人	203人	51.4%	2,436,000円	452人	276人	61.1%	4,636,800円
	橋北	737人	365人	49.5%	4,380,000円	974人	466人	47.8%	7,828,800円
	小計	2,513人	1,151人	45.8%	13,812,000円	3,247人	1,576人	48.5%	26,476,800円
拡大地区	片浦					273人	65人	23.8%	1,092,000円
	豊川(一部)					449人	113人	25.2%	1,898,400円
	上府中(一部)					636人	177人	27.8%	2,973,600円
	小計					1,358人	355人	26.1%	5,964,000円
合計		2,513人	1,151人	45.8%	13,812,000円	4,605人	1,931人	41.9%	32,440,800円
				利用金額	8,070,200円			利用金額	5,873,700円
				利用率	58.4%			利用率	18.1%

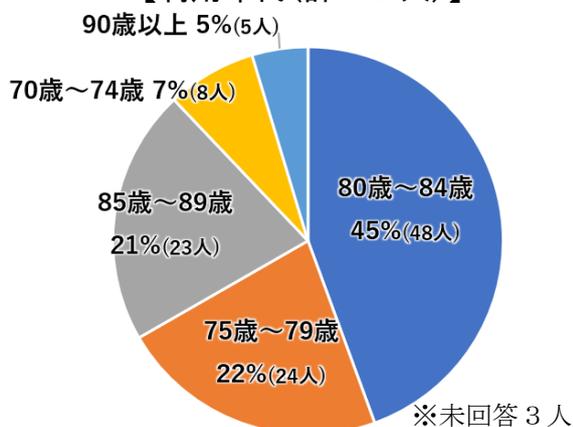
②おだチケ利用者アンケート調査

実施期間：令和6年4月～5月

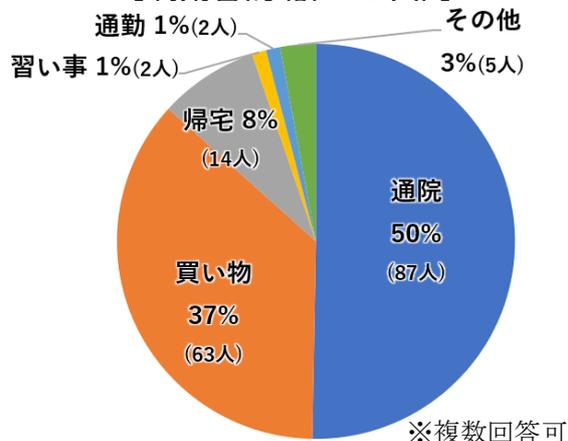
実施方法：おだチケと併せて調査票を配布し、郵送や住民窓口
直接提出又はWEB回答

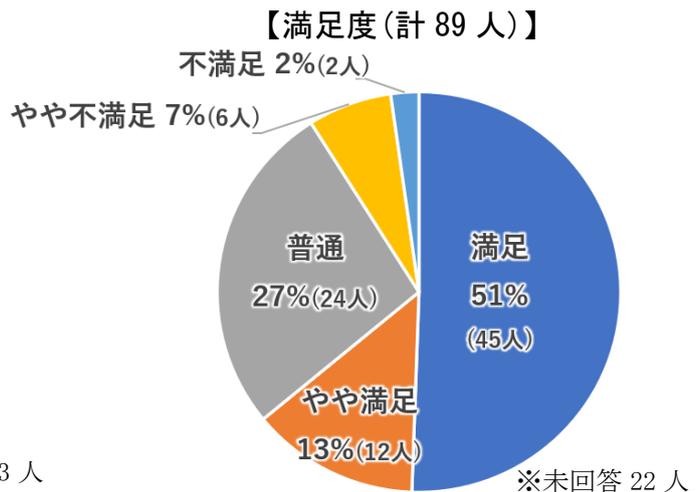
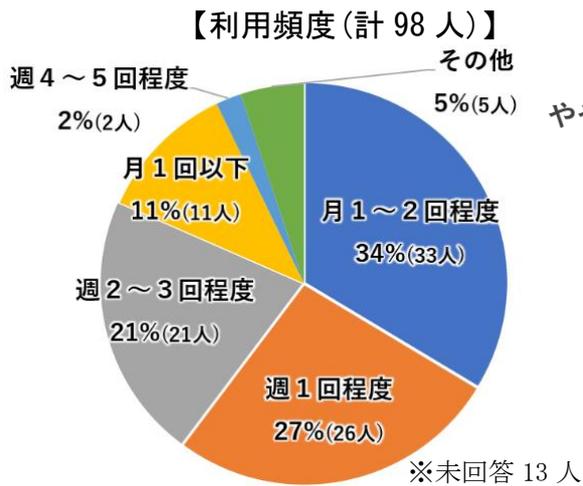
有効回答者数：111人

【利用年代(計108人)】



【利用目的(計173人)】





(3) 第2弾の中間評価

おだタクについて、前羽地区は、事業内容を見直したことで、利用状況が若干改善されたものの、片浦地区の利用状況までには至っておらず、下曾我・国府津地区は、1日の平均利用者数、稼働率ともに最も低い。

おだチケについて、拡大地区における申請率は、先行地区と比較し、低い状況にある。

これらを踏まえ、次の取組により周知を徹底し、利用促進を図っていく。

- ・ さくら連絡網での情報発信(令和6年7月12日予定)
おだタクの情報を発信し、小中学生及びその保護者等の利用を促す。
- ・ 社会福祉協議会等との連携
地区社協会長会議(5月16日開催)や、社協・自治会・民生委員による三者合同研修会(8月29日開催予定)でのおだタク・おだチケ実証事業の周知、民生委員児童委員協議会との定例的な意見交換のほか、高齢者を対象とする事業(高齢者筋力向上トレーニング事業等)と併せた周知に取り組んでいく。
- ・ おだタクの体験乗車会(令和6年5月実施)
おだタク利用者が少ない前羽、下曾我・国府津地区において、地域の方々へ積極的に周知していただくため、自治会長向けの体験乗車会を実施した。